

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成28年 6月22日更新

事務事業名		伝統郷土芸能等支援事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会事務局	課長名	岐部則夫
	施策	24	歴史と伝統文化を活かした郷土愛の醸成			所属課	生涯学習課	担当者名	菅真一郎
	施策の柱	81	伝統文化の継承			所属班	生涯学習班	(内線)	1515
予算科目	会計一般	款10	項5	目7	事業連番10927	根拠法令	文化財保護法		成果優先度評価結果：⑧ コスト削減優先度評価結果：⑥
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 27年度で終了 <input type="checkbox"/> 27年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	伝統的郷土芸能や歴史的な祭りの保存・継承活動、郷土の歴史を学ぶことに対する支援。(竹迫観音祭、城山祭実行委員会、須屋小屋地蔵祭実行委員会、弘生ウソ替保存会、合志町高干穂神楽保存会、須屋神楽保存会、黒石神楽保存会、西合志弁天太鼓保存会、合志市郷土史愛好会、須屋太鼓保存会) 各地域にある伝統郷土芸能の保存・振興を図るために開始された。現在、各地域にある保存団体の後継者育成及び確保が困難になっている。地元の若い世代が流出しているのが原因である。新興住宅街には若い世代が多いが、昔からの地域の伝統郷土芸能を理解していくには時間がかかる。
【業務の流れ】	補助金交付に係る申請の受理、審査、交付決定、支払、交付確定
【主な予算費目】	負担金補助および交付金(補助金)
【意見や要望】	補助金の申請者からは、財政緊縮の折補助金の削減は仕方ないが、活動がしにくくなることが懸念されるとの声がある。また、経費的に苦しく、補助金の増額を望む声もある。

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動)(DO)	28年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
補助金交付による各種保存会等(申請があった10団体)への支援を行った。各種助成金等の案内を行った。	補助金交付による各種保存会等(10団体)への支援各種助成金等の案内	
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
ア:補助金交付団体数	団体	修繕費が必要な保存団体への補助金増額のため
イ:補助金交付額	円	
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
各伝統郷土芸能等保存団体	ア:各種伝統郷土芸能保存団体数	団体
	イ:	
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
地域ごとの伝統芸能や歴史的な祭りが保存・継承される	ア:保存・継承できた保存団体の割合	%
	イ:	
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
活動している団体数を把握し、保存・継承のための支援を行う		全体計画
		~ 年度
		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	25年度実績(決算)	26年度実績(決算)	27年度目標(当初予算)	27年度実績(決算)	28年度目標(当初予算)	29年度予定	30年度見込	31年度見込	
①活動指標	ア 団体		9	10	10	10	10	10	10	10	
	イ 円		679	751	751	751	751	751	751	0	
②対象指標	ア 団体		6	6	6	6	6	6	6	6	
	イ										
③成果指標	ア %		100	100	100	100	100	100	100	100	
	イ										
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A)事業費計	一般財源	千円	679	751	751	751	851	751	751	751
		(A)のうち指定経費	千円	679	751	751	751	851	751	751	751
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	2	2	1	0	1	1	1	0
		延べ業務時間	時間	300	186	150	0	150	0	0	0
(B)人件費計	千円	1,195	741	597	0	597	0	0	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,874	1,492	1,348	751	1,448	751	751	751		

事務事業名	伝統郷土芸能等支援事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	-------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 補助金交付団体全10団体に交付し、活動を支援した。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②28年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 10団体とも申請を希望しているから。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 後継者育成のため、各団体と地元子ども会や小中学校との連携を促す。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 他に類似事業がないため
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 補助金の交付を受けずとも活動の継続が可能がある可能性もあり、逆により多くの補助金を必要としている団体もある。補助金交付団体および金額の精査が必要。	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最小限に抑えているため。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 郷土伝統芸能の継承活動は、地域の文化振興にも大きく貢献するため。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 各団体の活動資金の一部を補助しているため。

3 評価結果の総括 (CHECK)

伝統文化・芸能の保存・継承は後継者の確保育成が困難であり、年々活動団体が減少しているところであるが、各団体とも当初の事業を実施することができた。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																					